

●艦船令

大正八年三月十九日(軍令海一)

艦船令

第一條 艦船ハ之ヲ左ノ如ク種別ス

軍艦

驅逐艦

潜水艦

水雷艇

敷設船

工作船

運送船

雜役船

軍艦、驅逐艦、潜水艦及水雷艇ヲ總稱シテ艦艇ト謂ヒ敷設船、工作船及運送船ヲ總稱シテ特務船ト謂フ

第二條 艦船ハ本籍ヲ鎮守府ニ置キ艦隊其ノ他ニ編入又ハ附屬

スルモ其ノ本籍ヲ變更セス

第三條 艦船雜役船ヲ除ク艦隊其ノ他ニ編入若ハ附屬シ又ハ警備、練習若ハ測量其ノ他ノ役務ニ服スルトキハ之ヲ在役艦船ト稱シ

其ノ他ハ之ヲ豫備艦船ト稱ス

製造中ノ艦船ハ之ヲ未成艦船ト稱ス

特務船ノ役務ハ海軍大臣之ヲ定ム

第四條 警備、練習又ハ測量其ノ他ノ役務ニ服スル在役艦船ハ

其ノ役務ニ因リ警備艦艇、練習艦艇、測量艦船、水雷母艦又

ハ航空母艦等ト呼稱スルコトヲ得

第五條 艦艇ニ左ノ職員ヲ置ク

一 軍艦

艦長

副長

航海長

砲術長

水雷長

通信長

運用長

機關長

軍醫長

主計長

副砲長

二 驅逐艦

驅逐艦長

航海長

砲術長

水雷長

機關長

分隊長將校、機關將校

乘組尉官、機關尉官、特務士官、准士官、下士、卒

三 潜水艦

潜水艦長

航海長

水雷長

機關長

分隊長將校、機關將校

乘組佐尉官、機關佐尉官、特務士官、准士官、下士、卒

四 水雷艇

艇長

乘組尉官、特務士官、准士官、下士、卒

第六條 前條ニ掲クル職員ハ艦艇ノ類別、等級又ハ兵裝等ニ依リ其ノ一部ヲ置カス

豫備艦艇及未成艦艇ニハ適宜前條ニ掲クル職員ヲ置ク

警備、練習又ハ測量其ノ他特別ノ役務ニ服スル艦艇ニハ前條ニ掲クル職員ノ外其ノ役務ニ必要ナル職員ヲ置ク

驅逐艦及潜水艦ニハ必要ニ應シ軍醫、主計ヲ置ク

第七條 特務船ニハ指揮官ヲ置キ又軍艦ニ準シ其ノ他ノ職員ヲ

置ク

第八條 工作船ニハ前條ニ掲クル職員ノ外工作部長、工作部員及工作部附トシテ將校、機關將校、將校相當官、軍屬及職工ヲ置ク

第九條 雜役船ニハ其ノ所屬艦船、部隊ニ於テ隨時必要ノ乘員ヲ配置ス

雜役船ニハ必要ニ應シ指揮官ヲ置キ又驅逐艦ニ準シ其ノ他ノ職員ヲ置ク

第十條 艦船雜役船ヲ除クニハ前諸條ニ掲クル職員ノ外練習、研究其ノ他ノ必要ニ因リ將校、機關將校、將校相當官、特務士官、候補生、准士官及下士卒ノ臨時乗組ヲ置ク

第十一條 艦長ハ所屬長官ニ隸シ部下ヲ統率訓練シ軍紀風紀ヲ維持シ艦ヲ整備シ且艦ノ保安ニ任シ艦務ヲ總理ス

第十二條 艦長ハ本邦ニ於ケル島嶼等通信不便ナル地方ニ在ルトキ急劇ノ事變アリ鎮定ノ爲兵力行使ヲ必要ト認ムル場合ニ於テハ地方長官ト合議シ便宜之ヲ處理スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ艦長ハ之ヲ海軍大臣、海軍軍令部長及所屬長官ニ報告スヘシ

第十三條 艦長ハ軍港又ハ要港以外ノ港灣ニ在リテ所在首席將校ナルトキハ其ノ港灣ニ於ケル守備、秩序ノ維持及齊一ヲ要スル重大ナル事項ニ關シ同所ニ在ル驅逐隊、潜水隊、艇隊及艦船ヲ指揮スルノ權ヲ有ス但シ緊急ノ必要アル場合ヲ除クノ外之カ爲當該艦隊及艦船ノ本務ヲ妨クルコトヲ得ス

前項ノ場合ニ於テ當該諸隊及艦船ノ本務ヲ妨クルニ至リタルトキハ艦長ハ之ヲ海軍大臣、海軍軍令部長及當該諸隊、艦船ノ所屬長官ニ報告スヘシ

第十四條 艦長ハ副長ヲ置カサルトキ又ハ缺員中若ハ事故アリ

テ其ノ職務ヲ執ルコト能ハサルトキハ部下將校ヲシテ席次ノ順序ニ從ヒ其ノ職務ヲ執行又ハ代理セシムヘシ

第十五條 艦長ハ前條ノ場合ノ外第五條ニ掲クル職員ノ一部ヲ置カサルトキ又ハ缺員中若ハ事故アリテ其ノ職務ヲ執ルコト能ハサルトキハ他ノ職員ヲシテ其ノ職務ヲ執行又ハ代理セシムルコトヲ得

第十六條 艦長ヲ置カサルトキ又ハ缺員中若ハ事故アリテ其ノ職務ヲ執ルコト能ハサルトキハ副長其ノ職務ヲ執行又ハ代理ス

前項ノ場合ニ於テ副長ヲ置カサルトキ又ハ缺員中若ハ事故アリテ其ノ職務ヲ執ルコト能ハサルトキハ他ノ將校席次ノ順序ニ從ヒ艦長ノ職務ヲ執行又ハ代理ス

第二項ノ規定ハ特ニ職務執行者又ハ代理者ヲ置キタル場合ニハ之ヲ適用セス

第十七條 副長ハ艦長ヲ輔佐シ艦長ノ命令ヲ執行シ艦務ヲ整理シ乘員ノ服務ヲ監督ス

第十八條 航海長ハ艦長ノ命ヲ承ケ航海科員ヲ監督シ戰闘ニ當リ其ノ指揮ヲ執リ水路嚮導、航海、信號及見張ニ關スルコトヲ擔任シ之カ教育訓練ヲ掌リ主管ノ船體、艦船機裝品及兵備品ヲ整備ス

第十九條 砲術長ハ艦長ノ命ヲ承ケ砲術科員ヲ監督シ戰闘ニ當リ其ノ指揮ヲ執リ砲術ニ關スルコトヲ擔任シ之カ教育訓練ヲ掌リ主管ノ船體、艦船機裝品及兵備品ヲ整備ス

第二十條 水雷長ハ艦長ノ命ヲ承ケ水雷科員ヲ監督シ戰闘ニ當リ其ノ指揮ヲ執リ水雷ニ關スルコトヲ擔任シ之カ教育訓練ヲ掌リ主管ノ船體、艦船機裝品及兵備品ヲ整備ス

第二十一條 通信長ハ艦長ノ命ヲ承ケ通信科員ヲ監督シ戰闘ニ

當リ其ノ指揮ヲ執リ電信及電氣器具ニ關スルコトヲ擔任シ之カ教育訓練ヲ掌リ主管ノ船體、艦船艙裝品及兵備品ヲ整備ス

第二十二條 運用長ハ艦長ノ命ヲ承ケ運用科員ヲ監督シ戰闘ニ當リ其ノ指揮ヲ執リ運用、應急、潜水及木具工業ニ關スルコトヲ擔任シ之カ教育訓練ヲ掌リ主管ノ船體、艦船艙裝品及兵備品ヲ整備ス

第二十三條 機關長ハ艦長ノ命ヲ承ケ機關科員ヲ監督シ戰闘ニ當リ其ノ指揮ヲ執リ機關、電機及金屬工業ニ關スルコトヲ擔任シ之カ教育訓練ヲ掌リ主管ノ船體、艦船艙裝品、機關、機關附屬物及兵備品ヲ整備ス

第二十四條 軍醫長ハ艦長ノ命ヲ承ケ軍醫科員ヲ監督シ戰闘ニ當リ其ノ指揮ヲ執リ醫務衛生ニ關スルコトヲ擔任シ之カ教育訓練ヲ掌リ主管ノ船體、艦船艙裝品及兵備品ヲ整備ス

第二十五條 主計長ハ艦長ノ命ヲ承ケ主計科員ヲ監督シ戰闘ニ當リ其ノ指揮ヲ執リ會計、給與、庶務及厨業ニ關スルコトヲ擔任シ之カ教育訓練ヲ掌リ主管ノ船體、艦船艙裝品及兵備品ヲ整備ス

第二十六條 副砲長ハ艦長ノ命ヲ承ケ砲術長ノ職務中副砲ニ關スルコトヲ分擔ス

第二十七條 將校分隊長ハ艦長ノ命ヲ承ケ艦長指定ノ分隊ヲ指揮統御シ諸部署一部ノ長トナリ軍紀風紀ヲ維持シ隊員ノ人事ヲ掌理シ又主任者ノ指示ニ從ヒ教育ノ實施ニ任シ分擔ノ船體、艦船艙裝品及兵備品ヲ整備ス

第二十八條 機關將校分隊長ハ艦長ノ命ヲ承ケ艦長指定ノ機關分隊ヲ指揮統御シ諸部署一部ノ長トナリ軍紀風紀ヲ維持シ隊員ノ人事ヲ掌理シ又主任者ノ指示ニ從ヒ教育ノ實施ニ任シ分擔ノ船體、艦船艙裝品、機關、機關附屬物及兵備品ヲ整備ス

前項ノ外機關將校分隊長ハ機關長ノ命ヲ承ケ服務ス

第二十九條 軍醫官分隊長ハ艦長ノ命ヲ承ケ軍醫分隊ヲ指揮統御シ諸部署一部ノ長トナリ軍紀風紀ヲ維持シ隊員ノ人事ヲ掌理シ又主任者ノ指示ニ從ヒ教育ノ實施ニ任シ分擔ノ船體、艦船艙裝品及兵備品ヲ整備ス

前項ノ外軍醫官分隊長ハ軍醫長ノ命ヲ承ケ服務ス

第三十條 主計官分隊長ハ艦長ノ命ヲ承ケ主計分隊ヲ指揮統御シ諸部署一部ノ長トナリ軍紀風紀ヲ維持シ隊員ノ人事ヲ掌理シ又主任者ノ指示ニ從ヒ教育ノ實施ニ任シ分擔ノ船體、艦船艙裝品及兵備品ヲ整備ス

前項ノ外主計官分隊長ハ主計長ノ命ヲ承ケ服務ス

第三十一條 乘組兵科尉官ハ艦長ノ指定ニ依リ艦長、副長、航海長、砲術長、水雷長、通信長、運用長又ハ將校分隊長ニ屬シ各其ノ命ヲ承ケ服務シ又諸配置ニ在リテハ各上官ノ指揮ヲ承ク

第三十二條 乘組機關尉官ハ艦長ノ指定ニ依リ機關長又ハ機關將校分隊長ニ屬シ各其ノ命ヲ承ケ服務シ又諸配置ニ在リテハ各上官ノ指揮ヲ承ク

第三十三條 乘組軍醫ハ艦長ノ指定ニ依リ軍醫長又ハ軍醫官分隊長ニ屬シ各其ノ命ヲ承ケ服務シ又諸配置ニ在リテハ各上官ノ指揮ヲ承ク

第三十四條 乘組主計ハ艦長ノ指定ニ依リ主計長又ハ主計官分隊長ニ屬シ各其ノ命ヲ承ケ服務シ又諸配置ニ在リテハ各上官ノ指揮ヲ承ク

第三十五條 航海長、砲術長、水雷長、通信長、運用長、副砲長及將校分隊長ハ交番當直ノ勤務ニ服ス此ノ場合ニ於テハ之ヲ當直將校ト稱シ艦長ノ命ヲ承ケ直接艦ノ保安ニ任シ日常ノ

艦務ヲ處理ス但シ時宜ニ依リ前掲職員中其ノ一部ノ者ニ當直勤務ヲ課セサルコトヲ得

第三十六條 機關將校分隊長ハ交番機關科當直ノ勤務ニ服ス此ノ場合ニ於テハ之ヲ當直機關將校ト稱シ艦長、機關長ノ命ヲ承ケ機關ノ操縦ヲ掌リ機關科ニ關スル日常ノ事項ヲ處理シ又艦ノ保安、操縦其ノ他艦務遂行上必要ナル事項ニ關シ當直將校ノ指揮ヲ承ク但シ要スルトキハ機關將校分隊長中其ノ一部ノ者ニ當直勤務ヲ課セサルコトヲ得

第三十七條 乘組尉官ハ交番當直ノ勤務ニ服ス此ノ場合ニ於テハ之ヲ副直將校ト稱シ當直將校ノ命ヲ承ケ服務ス但シ乘組尉官ヲシテ適宜當直將校ノ勤務ヲ爲サシメ又要スルトキハ其ノ一部ノ者ニ當直勤務ヲ課セサルコトヲ得

第三十八條 乘組機關尉官ハ交番機關科當直ノ勤務ニ服ス此ノ場合ニ於テハ之ヲ副直機關將校ト稱シ當直機關將校ノ命ヲ承ケ服務ス但シ乘組機關尉官ヲシテ適宜當直機關將校ノ勤務ヲ爲サシメ又要スルトキハ其ノ一部ノ者ニ當直勤務ヲ課セサルコトヲ得

第三十九條 乘組特務士官及准士官中兵曹長、上等兵曹ハ航海長、砲術長、水雷長、通信長、運用長又ハ將校分隊長ニ、機關兵曹長、上等機關兵曹ハ機關長又ハ機關將校分隊長ニ、船匠長、船匠師ハ運用長ニ、看護長、看護師ハ軍醫長ニ、筆記長、上等筆記ハ主計長ニ屬シ各其ノ命ヲ承ケ服務シ又諸配置ニ在リテハ各上官ノ指揮ヲ承ク

第四十條 乘組下士及卒ハ分隊長ニ屬シ各其ノ命ヲ承ケ服務シ又諸配置ニ在リテハ各上官ノ指揮ヲ承ク

第四十一條 驅逐艦長、潜水艦長及艇長ハ各直屬上官ニ隸シ艦長ニ關スル前諸條ノ規定ニ準シ服務シ又別ニ定ムル所ニ依リ

乘組將校、機關將校及將校相當官ヲ指定シテ軍艦職員ニ關スル規定ニ準シ其ノ職務ヲ執行セシム

第四十二條 驅逐艦及潜水艦ノ航海長、砲術長、水雷長、機關長、將校分隊長及機關將校分隊長ハ驅逐艦長又ハ潜水艦長ノ命ヲ承ケ各第十八條乃至第二十條、第二十三條、第二十七條又ハ第二十八條ノ規定ニ準シ服務ス

驅逐艦、潜水艦及水雷艇ノ乘組將校、機關將校及將校相當官ハ驅逐艦長、潜水艦長又ハ艇長ノ命ヲ承ケ服務ス

前二項ノ將校及機關將校ハ第三十五條乃至第三十八條ノ規定ニ準シ當直勤務ニ服ス

第四十三條 驅逐艦、潜水艦及水雷艇ノ乘組特務士官、准士官及下士卒ハ第三十九條及第四十條ノ規定ニ準シ服務ス

第四十四條 特務船ニ在リテハ指揮官ハ第十一條、第十四條及第十五條ノ規定ニ準シ服務シ其ノ他ノ職員ハ第十六條乃至第四十條ノ規定ニ準シ服務ス

第四十五條 工作船ニ在リテハ前條ノ外指揮官ハ艦船、部隊ノ船體、兵器、機關等ノ工作及救難作業ヲ統理シ主計長ハ工作救難作業用ノ機械、器具及材料ノ保管、出納ヲ掌ル

工作部長ハ指揮官ノ命ヲ承ケ工作部員、工作部附ヲ統轄シテ工作及救難作業並備付機械、器具ノ整備ニ關スルコトヲ掌理シ工作部員ハ工作部長ノ命ヲ承ケ工作部附ハ各上官ノ命ヲ承ケ服務ス

第四十六條 雜役船ニ在リテハ指揮官又ハ首席乘員ハ直屬上官ニ隸シ第十一條ノ規定ニ準シ服務シ其ノ他ノ職員ハ第四十二條及第四十三條ノ規定ニ準シ服務ス

第四十七條 臨時乘組ハ艦長、驅逐艦長、潜水艦長、艇長又ハ指揮官ノ命ヲ承ケ艦船職員ニ準シ服務シ又臨時ノ職務及勤務

ニ服ス

第四十八條 艦船ニ軍醫官、主計官ヲ置カサル場合ニハ所屬長

官其ノ部下相當職員ヲ指定シテ其ノ職務ヲ行ハシム

第四十九條 特設艦船ニ關シテハ別ニ之ニ定ム

第五十條 艦船ノ類別及定員ハ別ニ之ヲ定ム

第五十一條 本令中ノ船體、兵備品等ノ主管及分擔ニ關シテハ

海軍大臣之ヲ定ム

第五十二條 艦船職員常務ノ細項ニ關シテハ海軍大臣之ヲ定ム

附 則

本令ハ大正八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス